



日本アマチュア無線連盟



お 知 ら せ

事務局 JH1WGP 大木 武

★ 第 34 回 JARL 茨城県支部賀詞交歓会が開催されました

去る 1 月 17 日～18 日日立市の‘久慈サンピア日立’にて第 34 回茨城県支部賀詞交歓会が開催されました。県内各地から総勢 62 名の皆さんが参加されました。

当クラブからは、JA1IOA、JE1RLK、JF1MFE、JF1KZD、JG1TPW、JG1WMN、JQ1QMU、JR1CCP の 8 名の皆さんが参加されました。参加の皆さんご苦労様でした。

★ 役員会を下記にて開催致しますので役員各位はご出席をお願いします

日時 : 2 月 28 日 (土) 19:00

場所 : 四中地区公民館

★ 土浦アマチュア無線クラブ総会、レピータ管理団体総会のお知らせ

日時 : 3 月 15 日 (日) 時間 : 13:00

場所 : 4 中地区公民館

クラブ総会終了後、土浦レピータ管理団体の総会を開催いたします。

3 月には総会案内状を送付予定です。

★ 第 32 回関東UHF コンテストが下記要領にて開催されます！参加してみましよう！

主催 1 都7県合同、関東地方本部

日時 平成27年 2月11日 (水、祝日) 09:00～15:00

参加資格 関東エリア内のアマチュア局 (社団局を除く) およびSWL

※関東エリア内を移動する他エリアのコールサインの局も含む

使用周波数 430/1200/2400/5600MHz帯、10GHz帯

※JARL主催コンテスト使用周波数帯および総務省告示による使用区別を使用

交信方法

○呼出：電信「CQ KNT TEST」、電話「CQカントウ コンテスト」

○コンテストナンバー：RS/T+JARL制定の市郡区ナンバー

【例】相手局のRS が59で自局の運用場所が豊島区=59 100116

~~~~~

## ★ JA1OVF 山崎さん 50MHzでWACを獲得されました

昨年12月末に予てより申請中のアワードが届きました。おめでとうございます。

WAC (Worked All Continents) : IARUが発行しているアワードで世界の 6 大陸の局と交信しQSLカードを得る。(周波数1.9MHz、3.5MHz、50MHz、144MHz、430MHz、1200MHz)

~~~~~

★ ハムショップ「土浦百貨センター」に当クラブ会報を置かせて頂きました

このほど土浦市並木3丁目、旧125号沿いの“土浦百貨センター”のご厚意により店内にクラブ会報を置かせて頂きました。親子のお客さんが会報を持って行かれたと聞きました。身近なハムショップですので時々お邪魔して店内見学やら社長と無線談義に花を咲かせるのも面白いですよ。

茨城県支部賀詞交歓会

JF1MFE 久松 満男

新年を迎えた1月17日茨城県支部賀詞交歓会がホストクラブ日立アマチュア無線クラブの担当で日立市の久慈サンピア日立にて開催されました。

土浦クラブから8名の局が参加しました、当局も午前中仕事で12時過ぎにJR1CCP局に乗せられて一路日立に美味しい食事所が在るとのことでしたが、時間がないとこのことで会場まで頑張りましたら、なんと、会議は2.30分よりとのことで、がくん！！宴会の前に13時30分より監査指導委員会があり、その後2時30分から支部役員会があり、4時過ぎに終了、部屋にてアイボール、JA1IOA JE1RLK JG1TPW かな？近くのお魚センターにてお刺身を買って微小宴会ハハハ！！クラブ役員さんのミスかな？JR1CCP局日帰りの予定が泊まりの申請、とんだとばかりお気の毒、！お互い申し込みはよく、確認？？

参加クラブは12クラブ、各クラブ人数の多少はありますが総勢62名の方々に17時30分に記念撮影をし定刻1800時より開宴され、来賓の関東地方本部長 前田吉実 JH1XUP、元JARL副会長根本紀正 JH1UBU（現関東地方本部顧問）栃木県支部長安部慈孝 JH1NLL 各人の挨拶が有り祝宴が賑やかに始まり暫しの歓談の後、参加クラブの紹介があり後にお楽しみの抽選会（ビンゴゲーム）にてけっこういい賞品が有りました。めづらしく土浦クラブでは8名の参加で7名の方が当たりました、外れた方には申し訳ない？こればかりはしょうがないね！！一番先にビンゴはJA1IOA局で本選仕込みの特級酒1升が当たりました、大事に持って帰られたようです。

終宴は8時過ぎになり8時30分くらいより二次会が始まりこれまた、賑やかに遅くまで騒ぎました、お疲れ様。

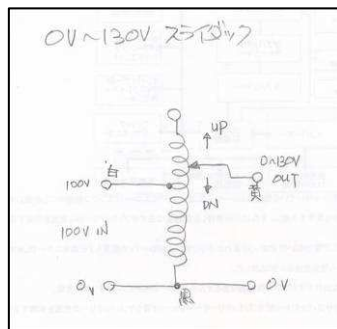


冬休みになりました。スライダックを修理しました。

JR1CCP 長塚 清

スライダックって知ってますか？何て言うと怒られるかもしれませんが、簡単に説明します。図のような単巻きトランスで出力に繋がる摺動子の動きで電圧を変える装置です。何に使うかと言うと、いきなり 100V を加えずに徐々に電圧を加えたい時などに便利です。特に、古いラジオの修理の時には重宝します。説明はこのくらいにしておきましょう。いつもより長めの冬休みが取れましたので無線機の前でいろいろと機械いじりをしています。以前山崎さん(JA10VF)にただただスライダックがあり端子盤の修理を行いました。

■写真(端子板が割れ+埃)



カバーを外して清掃。割れた端子台を取り外しました。新規端子台用にベーク板を買ってきましたがなんかすっきりしません。いろいろ試しているうちに、食品用の密閉容器を端子ボックスにするアイデアが浮かびました。

■写真(端子とコンセント)



さっそく作業開始。巻き線からのエナメル線をそれぞれ延長しておきます。ボックスの位置決めをして、ふたの方をインシュロックで留めました。箱の側に端子とコンセントを取り付けて配線を行います。

回路は簡単ですが、100V~130V を扱うので間違い無い様に注意

します。左写真は出来上がりです。もしもを考えて漏電ブレーカーを経由して接続しました。出力側にテスターをつなぎ接続、電圧調整つまみを回すと電圧が変化します。≒ 0V から、130V くらいまで変化します。ケース上面の電圧表示とほぼ合っています。これで、旧型の無線機や真空管ラジオの修理にも挑戦できそうです。特に古い機器の電源部の電解コンデンサーの劣化が予想される場合などは徐々に電圧を上げることができ安全面でも有効です。秋葉原のトランスショップで売っている物の大きさから容量は約 300VA 程かと思われます。今年は FT-101ES、KWM-2、IC-71、FDAM-3、スカイエリート 6・・・などなど修理待ちがありますので少しでも現役復帰(!?)させたいと思います。皆さんも情報をお持ちでしたらご教授いただければ幸いです。



誰でもできる

はじめての D-STAR

交信第一歩 編

JA1CCN 沖田 康紀

前回は、D-STAR の簡単な説明と、無線機に自分のコールサインを登録するところまで説明した。今回は交信の第一歩として FM と同じような通常の 1 対 1 の交信（シンプレックス）とレピータを一つだけ使った交信を説明します。

今回も ID-31 を例に挙げて説明しますが、基本的には ID-51 も操作は同じです。

シンプレックスの交信

前回の最後でも少し触れましたが、レピータを使わない 1 対 1 の交信、いわゆるシンプレックスの交信を詳しく説明します。

D-STAR の DV モードで運用できる周波数は、バンドプランの「広帯域の電話」と「全電波型式」の区分ですが、主にデジタル呼出周波数より少し高い周波数で行われています。この区分ならどこを使ってもいいのですが、アナログ FM の呼出周波数（145.00/433.00MHz など）は、DV モードの電波型式 F7W が許可されていないので使えません。注意してください。

● CQ を出している局をコールする

それでは、CQ を出している局をコールするところから始めましょう。無線機の「FM/DV」ボタンを押して、モードを「DV」に合わせてください。

433.30MHz をしばらく聞いていると「CQ D-STAR こちらは JA1CCN です。入感局がありましたら 433.32 でお願いします」という感じの CQ が聞こえてくるでしょう。アナログ FM の呼出周波数の CQ とまったく同じですね。

お知らせ…1月5日に改正されたバンドプランで、JARL の推奨周波数として、デジタル音声モードでの呼出しを行う「デジタル呼出周波数」が設定されました。D-STAR の呼び出しを行うときは、この周波数を使うことが推奨されます。この呼出周波数に法的拘束力はありませんが、アナログ FM は極力この周波数での運用を控えてください。

デジタル呼出周波数

51.30/145.30/433.30MHz



このとき、無線機のディスプレイに CQ を出した局のコールサインと簡単なメッセージ（運用地や無線機名など）が表示されると思います。

433.32MHz に移ったら、いつもの FM と同じように交信するだけです。RS レポートも普通に送ります。QSL カードを交換する場合、モード欄を「DV」とする以外に違いはありません。

● ちょっとした裏ワザ

FM の呼出周波数で D-STAR の電波を出せないと説明しましたが、FM で D-STAR 向けの

CQ を出すことは可能です。433.00MHz で「CQ D-STAR こちらは JA1CCN 433.32

D-STAR お願いします」という感じの CQ を出すのです。デジタル呼出周波数で CQ を出しても応答がなかったら、この方法を試してみてください。

● DV モードの交信の特徴

DV モードの交信では、ある程度信号が弱くなっても了解度は落ちず、クリアに復調してくれます。アナログ FM は信号強度が落ちるにしたがって了解度も下がるのとは対照的です。

ただし、正常に信号を受信できなかった場合はちゃんと復調できなくなり、宇

宙人の声のような音になってしまいます（俗にケロっているとも呼ばれます）。海外では「STAR WARS」になぞらえて「R2-D2」と言っているそうです。

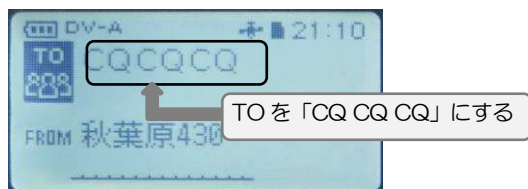
レピータを一つだけ使った交信

次に、D-STAR レピータ（以下、レピータ）を一つだけ使った交信にチャレンジしてみましょう。これを「山かけ」または「ダイレクト」と呼びます。

● 「山かけ CQ」を選ぶ

レピータを使う交信は、無線機の「DR」ボタンを長押しして「DR モード」で行います。

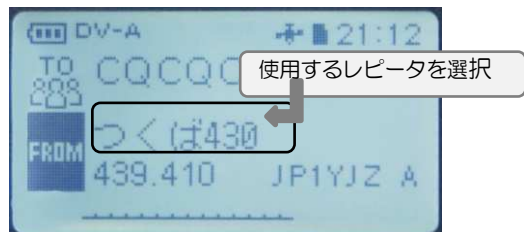
まず、上段の「TO」を「CQ CQ CQ」に合わせます、十字キーで「TO」に合わせて、真ん中のボタン（決定キー）を押します。十字キーで「山かけ CQ」を選んで決定キーを押せば「CQ CQ CQ」になります。



● 使うレピータを選ぶ

次に、使うレピータを選びます。例として「つくば 430」に合わせてみます。無線機にメモリーされた日本語表示のレピータリストから選ぶので、初めての人でも簡単です。

まず十字キーで「FROM」を選んでください。ダイヤルつまみを回すと、表示されているレピータ名

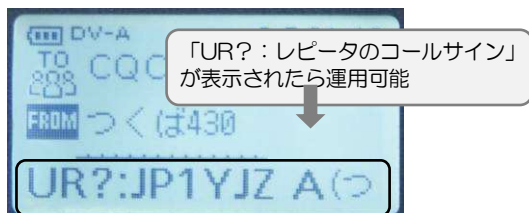


が変わっていくのがわかるでしょう。これで、「つくば 430」に合わせてみます。レピータリストは県ごとにまとめられてい

るので、探しやすいと思います。

● レピータを使って交信する

レピータを使った交信をする前に一度カーチャックして、レピータにアクセスできるかどうか確認します。「UR?:レピータのコールサイン」がディスプレイに表示されたら、アクセス可能です。



D-STAR では、レピータでも CQ を出して交信することが一般的なので、CQ を出してみます。

「CQ D-STAR こちらは JA1CCN つくば 430 山かけ（ダイレクト）です。お聞きの方がいましたら、交信をお願いします」

アナログレピータとの違いは「つくば 430 山かけ」のように、アクセスしているレピータ名を示して CQ を出すことです。D-STAR レピータの交信では、インターネットでつながった別のレピータを使っているかもしれないので、電波の出所を示さないと、交信できないこともあります。

レピータを使うときは、長時間占有しないように気を付けてください。連続使用する場合は、ほかの利用局に迷惑を掛けないように配慮します。

CQ への応答がなくてもしばらく待ってみてください。D-STAR の交信では、しばらくしてからコールされることもあります。

* * *

いかがでしたか。これで交信できるようになったと思います。ぜひ D-STAR デビューをしてみてください。次回は、D-STAR 最大の醍醐味「ゲート越え」での交信について説明します

ゼロ戦その 15

JH1WGP 大木 武

前月号でガ島慰霊碑の文字が剥がされていたと書きましたが平成 23 年に再整備されると雑誌「丸」記されていました。南の島には（多分それ以外にも）慰霊碑は沢山建立されていますがその後の維持管理が継続されていないのが現状だと思います。

さて戦い終わっていや燃料の関係で帰らざるを得ないガ島攻撃から帰る途中、連日の出撃からどうしても疲れから居眠りが出てしまう。これを攻めることは出来ない。日本の通信機器は今でこそ世界一流となりましたが当時の無線電話は使い物にならずアンテナを外していた機もあったらしい。「ああ、あいつは居眠りしている」と判ってもどうすることも出来ず仲間を失っていった。

さらに空に迷って帰れない機もあった。自分の現在地を把握し目的地までどの方向で飛行するかこれを航法と言いますが、陸軍は陸上を飛ぶのであまり力を入れなかったらしいが海軍は海を飛ぶので必須ではあった。しかし単座戦闘機になるとやはり訓練と経験が必要



となり誰でも出来る確実な航法はまだなかった。米軍もやはり同じようにけっこうあったようです。

ただ空母搭載のゼロ戦にはクルシー無線帰投方位測定器が装備されていた。コクピットの後ろのループアンテナで受信し空母から発信される電波をもとに帰投方向が分かるシステムだったが陸上基地用には装備されなかった。

かくしてガ島撤退となったがこれを撤退と言わず転じて進む「転進」と報道された。当時こういう言いかたは他にもあります。全滅は玉砕、避難は疎開、敗戦は終戦など。今ではどうでしょうか？ XX 輸出が YY 移転もそれに近いか。。。

昭和 18 年 4 月ラバウル基地に山本五十六連合艦隊司令長官が前線の士気高揚の為トラック島（現在 V63 ミクロネシア：チョーク島）から飛んできた。大いに士気が上がり戦果もあがった。現場からの要請のゼロ戦の防火防弾対策についてもよく理解し本国に帰り改善させる事となった。がこの長官の行動は米軍に暗号解読され、さらに前線基地に向かう途中長官機の一式陸上攻撃を待ち伏せ、援護ゼロ戦に目もくれず一式陸攻のみを集中攻撃たちまち火が噴き自爆帰らぬ人となってしまった。



一式陸上攻撃機

つづく

常陸国出雲大社

JE1RLK 田中文之

笠間に出雲大社があると聞き、地図で探してみました。
場所は笠間市にあり、水戸線福原駅の近くで、50号線沿い笠間よりにありました。
行くのであれば1月中にと思い、21日に行って来ました。島根県の出雲大社より小
さめですが、同じように立派で、大きなしめ縄が飾られていました。

平成4年12月に、島根県出雲大社よりご分霊し、鎮座していただいたそうです。



飾ってあるしめ縄は6トンほどあるそうです。

祭ってある神様は大国主命で、社殿の後ろに本殿があり、神様は右を向いて鎮座しておられるそうですので、本殿の左側に回ってお参りするのが本格的なおまいの仕方です。お参りに来た人達を見ていると、社殿正面のみで帰っていく方々が大半でした。

一般的には2礼2拍手1

礼ですが、出雲大社は、2礼3拍手1礼です。

立派な大社でしめ縄もすばらしい、なかなか島根県までいけませんので、近くでもありますし、一度は、おまいりに出かけて行っては、いかがですか。



皆さん、記事をお待ちしています。近況で結構ですので、連絡してください。

平成26年度第11号	通巻471号	JARL登録番号14-1-0018
発行日：平成27年2月1日	発行者：土浦アマチュア無線クラブ事務局	
オンエアミーティング：毎週月曜日 PM9:00～土浦レピータ(439.70MHz)		